

第310号
2011年
3月7日

どついたニュース

全損保日勤外勤支部
東京都中央区銀座5-13-7
東銀座東京海上日勤ビル1階
電話 03-3542-9857
FAX 03-3542-9858
教宣部 発行

名古屋地区協連絡会 2011 春闘本部オルグに参加

横のつながり健在 名古屋から運動を盛り上げていこう

3月4日、名古屋地区協連絡会の春の本部オルグが、オルガナイザーに荒木本部副委員長を迎え、ザ・ビー名古屋で開催されました。

荒木副委員長はまず春闘情勢や私たちを取りまく情勢に触れ、「再編合理化情勢の下で繰り広げられている損保経営者の効率化攻撃や社会的役割を置き去りにした利益第一主義の施策によって、職場には将来不安や、会社政策に対する疑問・怒りが渦巻いている」と話し、



「こうした職場からの声や主張を束ねてたたかっていくのが2011春闘だ」と提起されました。



損保各社の職場実態が語られた場面では、「全国型」の仕事が「地域型」やASP社員に回され、「地域型」がやっていた仕事はスタッフがこなし、各々の賃金水準はそのままに、結局は「全国型」が出向させられたり、「早期退職優遇制度」が実施されている当社の「役割変革」を連想しました。また、募集網に仕掛けられている攻撃では“会社の言うことを聞かなければ切り捨てる。”と言わんばかりのきわめて冷たい、社会的使命を忘れた代理店政策が、全社的にまかり通っていると感じました。残念ながら、私の職場の当事者を見ると、このような実態に対し「おかしい」「何とかすべきだ」というムードは感じませんが、全損保が全損保らしくたたかっていくことで、こうした閉塞した職場環境や募集網環境に歯止めがかけられればと思いました。

その後おこなわれた懇親会は、参加者が積極的に



語り合い、とてもアットホームで、和やかな雰囲気になりました。今回はあいおい外勤支



部から3名、あいおい支部・日本興亜支部からそれぞれ女性組合員が参加され、当支部OBの松本さんを含め、9名で懇親を深めました。それぞれの立場で近況報告をおこなうなか、全損保に結集していくことが自らの制度や処遇を守ることだと意思統一しました。また、白馬で開催される“サマジャン”にも話しが及び、名古屋からも積極的に参加していることを確認しました。

名古屋は地協から地区協連絡会に組織改編されましたが、全損保に結集する横のつながりは健在です。これからも情報交換を密にして、2011春闘をはじめ、全損保がすすめる運動を、名古屋から盛り上げていくことを誓いました。

以上